

自己評価シート②

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果		評価の着眼点
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	☑	ア 理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	保育理念・教育目標・保育目標に関しては、掲示板に掲載し、また、入園のしおり及びホームページでも確認できるようになっている。入園説明会時、資料をもとに説明している。わかりやすいように具体例をあげながら進めていくように心がける。又、オリエンテーション時においても説明するように心がけている。		☑	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			☑	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			☑	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			☑	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			☑	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果		評価の着眼点
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	☑	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	収支予算書・月次試算表に基づき随時経営判断をし、コストの削減や施設環境を整える。保育ニーズに関しては、教育を含めた様々な取り組みを行い特徴をだすように進めている。地域の福祉計画の動向に関しては、不十分な点があるため情報の共有する。		☑	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			☑	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	☑	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	業務効率化として、事務時間を設定しながら各クラスの連携を図るように進める。職員配置も手厚くし残業が発生しないように仕組み化する。職員にはできることを継続的に進めてもらうようにしている。無駄を出来るだけ排除するために		☑	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			☑	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果		評価の着眼点
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	☑	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	社会情勢を踏まえ、計画の見直しを実施している。環境整備に関しては、今期は実行せず優先順位を明確にして進めている。		☑	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			☑	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	☑	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	事業計画は、明確化しているが、状況の変化や規制に伴い予定通り推移していない現状がある。読み切れない点も多々あるが、見直しをしながら進めている。		☑	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			☑	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

自己評価シート② 【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	定期職員会議に於いて、事業計画を作成し職員の意見も取り入れながら実施している。見直しや評価についても実施しており、次年度に結び付くように進めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	年度初めに年間改革として、行事やレッスン等折込み計画を組んでいる。クラスごとの計画に関しては、年度初めでの懇談で実施しているが、本年度は、文書のみ提示となる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	子ども一人ひとりの成長に合わせ保育に取り組んでおり、家庭との連携もしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづく保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	地域の需要と子育て事業での地域環境を踏まえ、需要に的確に対応できる環境整備に務めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	施設長兼園長は、保育業務における全ての責任をうものとしてます。全体会議の主催及びクラスミーティング・保育ミーティング・リーダー会議は、状況の把握のため参加している。タイムリーに情報を共有でき、職員にもスムーズに伝達できているので、保育の質の向上にもつながっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	プライバシーに関しては、外部発信の禁止、プライバシーに関わるすべての事項は管理者が決済し直接対応。個人情報(申込書・幼児表・家族構成など)全ての事項は、所定の場所で管理し、職員に対しても周知徹底している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

自己評価シート② 【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	対外的・対内的な公の場における統括とし、遂行に当たっては、指示・監督を怠らずスムーズな運営に結び付ける。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	3カ年計画にて目標を明確にし様々な情報を吸収しながら柔軟な取り組みを実施している。又、顧問税理士との定期的な経営分析をし、効率の良い業務内容と無駄が出ないよう削減に務めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	職員の人間性・経験・保護者との関わり・指導力・自己評価などを踏まえて、人員配置を心掛け実施している。個人面談で意見交換をし、質的に貢献度・知名度など将来性を踏まえて考課基準とする。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	個人の自己判断・自己分析を主に置き、業務内容や責任の重要性を見ながら総合評価し判断している。俸給や処遇改善等に関しては、事前に説明会を行い周知している。個別面談も実施しながら、指導やアドバイスをし、共有できる環境づくりとスキルの向上に努める用意している		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	職員が個々の家庭環境を踏まえ、超過労働・残業が発生しないように配慮している。職員全員が公平に希望も入れ、組み立てを実施。業務時間内に事務時間を設け、定時退社できるよう努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

自己評価シート② 【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	人事考課も公平且つ客観的に見て対応する。職員一人ひとりとの個人面談を通して評価し、園全体や個人としての将来性を踏まえた取り組みを行う。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	年間研修計画を策定し、職員が参加したい意向を優先しながら、出来るだけ多くの職員が参加できるように配慮している。また、研修での内容に関しては、他職員間でも共有し、内容によっては、業務に反映するようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	北海道主管・札幌市での研修会の参加として、情報の共有化を図るとともに、実務に活かすべく改善改革として職員への提示を進めている。又、オンラインでの研修会議にも積極的に参加を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を奨励している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生受け入れに伴う、プログラムを策定し、各クラス担任が周知するようにしている。実習生の多くの機会をあたえながら、ホローをしながらアドバイスするように心がけている。当園での実習が実り大きいものとなり、保育現場で働くようになった時での、自信に結ぶ着くように、また、働きやすい環境作りや情報の共有の大切さ連携等を組み取れるように体制を整備している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	経営理念・教育保育理念として職員に周知徹底している。又、保護者に関しては開示およびホームページにて告知・園だより・クラスだより等を活用し、意識の統一を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルール、職務文書と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
	地域状況の変化や待機児童の状況の把握、地域の需要と子育て事業での地域環境を踏まえ、先行投資をしながら、需要に的確に対応できる環境整備に努める。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

自己評価シート② 【共通評価基準】

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域における施設の活用や地域移住の子どもたちの接点及び交流。小学生の保育園訪問や行事参加など小学児童とのかかわりも定期的を実施。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	学童保育の支援員が小学校との連携および小学生との関わりを含め、交流会の実施を行っている。また、各種レッスンの組立も実施しており、サッカー教室や体操教室に関しては、専門的見地から判断し計画実施に結び付けている。空手教室は、事務職員が空手指導員として行っている。英会話教室以外は、全てボランティア事業での施設間協力体制を構築している。		<input type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力をしている。
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有が図られている。
	各種関係機関との連携は勿論ですが、地域としての、児童館や子育てサロン・児童デイサービスや老人施設等との交流や情報交換及び近隣保育施設との連携も図っている。町内会の協力のもと、地域の安全保全にも努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域との関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。(保育所)
	子育て支援として、教育機関や児童養護機関等と情報共有の機会を設けている		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。(保育所)
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動(地域の子どもの育成・支援、子どもの貧困への支援等)を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
	育児相談や子育て相談、障がい児支援などの窓口を開設している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

自己評価シート② 【共通評価基準】

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	一人ひとりの子どもの成長・月齢に合わせ基本を明確にし取り組んでいる。個人記録にて適切な対応を心がけ、家庭との連携にて健全な成長をサポートしている。そして、子どもの相談に関しては、別室にて他の子どもや保護者がわからないよう対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 規定・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。
	子どものプライバシーに関しては、外部発信の禁止、プライバシーに関わるすべての事項は、管理者が決済し直接対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子ども・保護者にプライバシー保護に関する取組を周知している。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	ホームページを有効に活用し、出来る限り施設状況が分かるように配慮している。入園に関しては、当園紹介動画・行事に関しては、限定動画・ライブ配信に関しては、会員限定動画を組み込みタイムリーに閲覧できる環境を整備している。また、行事に関しては、ビデオ撮影をDVDでの貸し出しも並行して実施。写真は、普段の生活の様子を入れながら、個人情報に配慮し、外部委託業者と連携し実施している。見学や説明会は定期実施しているが、今期は、感染症の観点から変則での対応となる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	サービスの変更に関しては、限りなく取り入れるように配慮し、運営にも反映できるようにしている。対策等についても提示し明確な姿勢を示している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	気になるお子さんに関しては、出来る限り引き継ぎできるように進めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
33	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	利用者が使いやすい、話しやすい環境を作るとともに、オープンで会話ができるアットホームな雰囲気作りを心掛けている。子ども以外の話にも耳を傾け、利用者のストレス緩和にも努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)

自己評価シート② 【共通評価基準】

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決には、職員が把握し管理者に報告し管理者から対処する仕組みを作っている。また、一部に偏ることがなく、全ての保護者に意見・要望も合わせて開示するようにしている。苦情相談に関しては、速やかに対処し、対策の結論が見えるようにタイムロスがでないように進めている。些細なことでも記録に残し管理している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選ぶことをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	保護者が相談しやすいよう子育て相談室を設け、対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	利用者の意見は、なるべく取り入れ、対応するようにしている。そして事前に利用者に発信し、理解のもと進めて行く。又、子どもの身体状況や生活状況を正確に把握するための計画アセスメントを行い、子どもが退園しても状況がわかるように記録を残し、生活がわかるように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	様々な場面でスムーズに対処できるように、定期的な確認及び実施訓練及び勉強会を行う。個人差がでないように配慮し徹底している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症発生対応マニュアルにそって、発生状況を保護者、全職員に通知している。又、流行性での感染症に関しては、事前に告知をし、注意を促すとともに衛生面・消毒の強化を徹底して行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	避難訓練は、毎月1回対応マニュアルに即して消防署と連携を行い、都度改善に努めている。又、地震・水害を想定しての訓練を行い、備蓄品に関しては、定期的に、検査を実施しながらリストの見直しも行う。災害マニュアルは、職員全員が把握できるように周知徹底している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

自己評価シート② 【共通評価基準】

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	評価の着眼点
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	<p>ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。</p> <p>イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。</p> <p>ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。</p> <p>エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。</p> <p>オ 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)</p>
判断した理由・特記事項等			
部門会議・部署会議等を通じながら、確認徹底する。研修は勿論ですが、指導の徹底と共通での認識を図るように進めている。			
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<p>ア 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。</p> <p>イ 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。</p> <p>ウ 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。</p> <p>エ 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。</p>
判断した理由・特記事項等			
適時、確認を行いながら、見直しも含め検証している。より良い保育環境に結び付けるべく、状況に応じて柔軟に対応するように心がけている。			
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	評価の着眼点
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a	<p>ア 指導計画作成の責任者を設置している。</p> <p>イ アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。</p> <p>ウ ささまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。</p> <p>エ 全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。(保育所)</p> <p>オ 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)</p> <p>カ 計画の作成にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)</p> <p>キ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)</p> <p>ク 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)</p>
判断した理由・特記事項等			
子どもと尊厳を重視し、保護者が考えるニーズに寄り添いながら出来るだけ反映できる手段を構築している。保護者の意見を参考にしながら園としての実施計画を組み、一方的な計画にならないように進めている。また、検証をしながら、職員が把握し対応するように会議などでの確認を行う。			
43	② 定期的な指導計画の評価・見直しを行っている。	b	<p>ア 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。</p> <p>イ 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。</p> <p>ウ 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。</p> <p>エ 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。</p> <p>オ 評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。(保育所)</p>
判断した理由・特記事項等			
振り返り、見直しをしながら保育内容の充実を進める。同様に全体会議等で意見の吸い上げをしながら、見直しの意図説明をしながら周知している。			
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	評価の着眼点
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<p>ア 子どもが発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。</p> <p>イ 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。</p> <p>ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。</p> <p>エ 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。</p> <p>オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。</p> <p>カ コンピュータネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。</p>
判断した理由・特記事項等			
日常の対話や連絡帳への記載など、日頃から保護者に呼びかけをし面談を実施している。職員会議等でも子どもの情報を交換するなど周知を徹底している。個人記録・指導計画に関しては、クラス単位で共有するように進め、偏らないように徹底し、子ども一人ひとりの指導計画を、職員が把握するように実施する。記録簿は、統一のフォーマットで、園内職員が確認できるようにしている。			
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<p>ア 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。</p> <p>イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。</p> <p>ウ 記録管理の責任者が設置されている。</p> <p>エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。</p>
判断した理由・特記事項等			
個人情報保持規程を設け、全ての面において乱雑にならないよう厳しく管理している。破棄書類も、シュレッターにて泥漏ししないようにしている。個人に係る書類の管理は、主任保育士の管理化とし外部に持ち出せないように職員も徹底している。特に、休日や時間外での入室を禁止し、研修などでの入室時は、複数体制とし、管理者を置くこととしている。			

自己評価シート②

【共通評価基準】

		<input checked="" type="checkbox"/>	才	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	力	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

自己評価シート③

【内容評価基準】

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成		自己評価結果	☑	評価の着眼点
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	☑	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。
児童福祉法・保育所保育指針等の改定も踏まえつつ、全体的計画に反映し、また、適時、振り返りを実施しながら生かしている。			☑	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。
			☑	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。
			☑	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果	☑	評価の着眼点
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
曲に合わせて体を動かすコーナー・制作・作成をする創造性を養うコーナー・本を読んで絵や文字に関心を持つコーナー・玩具を使いながら創意工夫をするコーナーを子どもの選択や興味にて自発的に進めている。また、登園時には、音育としてリラックスできる曲を9：00まで流し、情緒の安定を図っている。			☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
子ども一人ひとりと話し合う機会を十分に設けて、性格や家庭環境に合わせて接し向上する気持ちや、友達との関わり、物事のよし悪し、約束事など、個々に対する対応を心掛けて関わりを持っている。子どもの興味を導き出すために、ゾーン別コーナーを設けて子どもの意志を尊重するようにしている。			☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
子どもの自主性を養うため、一日お当番や製作、お絵かき等を通して、表現力を身に付けている。着替えやトイレ・歯磨きに関しても自分で積極的に行えるように促している。			☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
年齢別、生活習慣の組み立ての実施と合せて、運動性も進めている。異年齢での関わりや月齢の大きな子どもとの関わり方にて、思いやりの気持ちを養い、真似をする行動範囲の運動の中からはぐくんでいる。			☑	ウ 遊びの中で、進んで体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			☑	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。

自己評価シート③

【内容評価基準】

	乳児室は、幼児室と別に部屋を設置し、換気・湿度・温度に配慮し、快適に過ごせるよう整備している。又、乳児用のプレイコーナーや玩具・絵本等を用意し、保育士のふれあいを主に実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	1歳児は、成長の状況を個々に判断し、ほふく室と保育室として区別し、保育内容に関しても、応用を聞かせながら行う。また、衣服の着脱や場面に応じての状況を把握しやすいように声掛けも気を使いながら、特に、おむつ替え等の時間帯での保育が手薄になりがちな時間帯は、補助要員を配置し対応する。2歳児は、衣服の着脱や集団生活でのルール、子ども通しの関わり方と幅広い視野でみられるように進めている。戸外遊び以外の園内でも、ウッドデッキの活用や園庭を活用し様々な場面での体験をうながしている。また、リズム遊び・ダンス・英会話等は、1歳児・2歳児共通にて実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切に関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	3歳児・4歳児は、交流しやすいように開閉式のパーテーションとし、5歳児は、個別保育室として、月齢に応じた設定環境としている。また、姉妹園との交流も行い、関わりを幅を広げること、5歳児は、小学校に向けての設定を取り入れながら、様々な体験を実施するようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学前の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	障がい児童類に関しては、個別計画を作成し、専門機関の巡回指導や個別指導を受けながら、子どもの個性にあわせた保育計画を組んでいる。他児との関わりには配慮し、集団生活を見据えた中で、寄り添いながら進めていくように、職員も研修を積極的に受けるようにスキルを高めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ それぞれの子ども在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	長時間でのお子さんに関して、保育環境にメリハリを付けながら進めている。自由時間を有効に活用しながら、負担にならないよう配慮しつつ成長の糧となるように配慮している。特に生活リズムを変えないようにご家庭の協力をいただきながら進めていくように努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見直しを持てる機会が設けられている。
	小学生の訪問や5歳児クラスの小学校訪問、保育所での交流として、行事参加など小学生との関りも定期的実施している。利用者の兄弟や地域の子どもたちにも保育所を開放して、接点を設けることや行事参加を促している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見直しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点	
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。

自己評価シート③

【内容評価基準】

	登園時は、保護者から子どもの状態を聞いて確認し、子どもの視診チェック及び検温を行う。又、検温に関しては、子どもの状態に応じて定期的に実施し、検温チェック表に記入。保育日誌での健康欄に記入し、日々の保育ミーティングにて徹底を図る。担当職員が交代する場合、引継ぎ伝達を徹底し、保護者に対して、口頭・連絡帳にて健康状況報告を実施している。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ <input checked="" type="checkbox"/> エ <input checked="" type="checkbox"/> オ <input checked="" type="checkbox"/> カ <input checked="" type="checkbox"/> キ <input checked="" type="checkbox"/> ク	子どもの保健に関する計画を作成している。 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 保護者に対し、保育所の子ども健康に関する方針や取組を伝えている。 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
	判断した理由・特記事項等 健康診断は年に2回(5・10月)、歯科検診は年1回(9月)実施している。結果については、保護者及び職員に伝達し保育に反映させている。又、事前に確認したい事項を保護者から伝達し、医師に相談し結果も併せて伝達している。		<input checked="" type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ <input checked="" type="checkbox"/> エ <input checked="" type="checkbox"/> オ <input checked="" type="checkbox"/> カ	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等 アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a		
	判断した理由・特記事項等 食物アレルギー対応について、定期的に児童の発育状況、症状、食欲、精神面の変化の有無、食物アレルギーのある児童に対する周囲の状況、家庭での状況などについて職員間や保護者等と情報交換を十分に行っている。			
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ <input checked="" type="checkbox"/> エ <input checked="" type="checkbox"/> オ <input checked="" type="checkbox"/> カ <input checked="" type="checkbox"/> キ <input checked="" type="checkbox"/> ク	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 食器の材質や形などに配慮している。 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
	判断した理由・特記事項等 年齢、月齢に合わせて食育年間計画を作成し、その季節に合った食材などを題材にして絵本を読んだり、行事の日にはその行事に合ったメニューを給食にするなどして職の大切さ・楽しさを伝えられるよう務めている。食が細い子は、徐々に量を増やしながらかん食することの大切さと食べの感謝の気持ちを促す。好き嫌いに限らず、その食材の持っている価値をわかりやすく説明し食への興味を促す。食生活に関しては、家庭での食事の様子を確認しながら、一緒に進めていくようにする。			
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ <input checked="" type="checkbox"/> エ <input checked="" type="checkbox"/> オ <input checked="" type="checkbox"/> カ <input checked="" type="checkbox"/> キ	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 子ども食べる量や好き嫌いなどを把握している。 残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 季節感のある献立となるよう配慮している。 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。
	判断した理由・特記事項等 子どもの月齢・年齢に合った適量を食べさせ、よく噛んで食べるよう数を数えながら食べるなど工夫して食事をを行う。又、盛り付けを工夫し視覚での食欲を促す。			

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
	判断した理由・特記事項等 子ども一人ひとりに対し適切な対応を心掛け、家庭との連動、連携にて健全な成長を支えている。			

自己評価シート③ 【内容評価基準】

		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
行事への取り組みや遊びを通しての成長発信し、保育者とともに喜びを分かち合う。又、保育参観で日頃の様子を見てもらうことや、保護や懇談会を通して子どもたちの成長伝え、子育ての情報交換や保護者同士の交流を図る。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性があると感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
保護者との会話や、身近な人との会話・子どもの言動・行動が疑わしいと判断した場合、子どもの情報を日常会話からなるべく探り、管理者に報告する体制をとっている。又、児童相談所などの関係機関に紹介・通告する義務徹底も怠らないように周知徹底している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
社会福祉に従事する保育園職員として、福祉に対する観念と事務及び技能の研修を図るため必要と認められる研修を実際に受け、報告書をまとめ、職員室に掲示している。また、年2回、自己評価として、業務に関する知識や自分が見直さなければならない点に気づき、業務に反映していくように実施している。また、自己評価を踏まえ、アドバイスをしながらか進めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。